



Deotex PANTHERA PLOT NEWS RELEASE

2007 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦
SUZUKA 2&4RACE

2007
Vol. **2**

開幕戦6ポイント獲得とまずまずの滑り出しを見せた
DeotexPANTHERA PLOT。
全日本ロードレース第2戦はフォーミュラニッポンとの
共催で華やかな雰囲気を見せる三重県鈴鹿サーキットで
スポットエントリーを含む総勢63台のマシンで争われた。



4月14日 予選レポート 気温20 天気：晴れ 路面：ドライ

前夜の雨も明け方には上がり、予選セッションの頃には完全なドライコンディションとなっていた。
エントリー台数が規定以上だったためA/B組に分かれての通常計時予選が行われた。
前日のフリー走行で思うようにタイムが伸びず、上田昇監督にアドバイスを受けて望んだ予選2回目。
徐々にマシンセッティングとS字区間の走りを詰め、最終アタックで渾身の走りを見せる。
ラストラップでレースウィークベストを大幅に更新する2'11'968を叩き出し予選17位へつけた。

予選タイム 2'11'968 Aグループ9位 総合17位

4月15日 決勝レポート 気温19 天気：晴れ 路面：ドライ

サイティングラップ開始直前に突如震度5の地震がサーキットを襲い波乱のレースを予感させたが、予定通り
午後2時全日本ロードレースJSB1000クラス第2戦の幕が切って落とされた。
無難なスタートを切り1周目をポジションアップの16位で終える。序盤以降NO.1須貝選手 (KEHN KOHARA)、
NO.77野田選手 (ハニービー)、NO.30波多野選手 (MotdMapSUPPLY)と集団で四つ巴のレースを展開しお互いに
順位を上下させる。一時19位まで順位を下げるものの終盤ベストラップを更新し順位も回復させ16位で
チェッカーを受けた。

決勝 16位 獲得ポイント 5

ライダー 今野由寛のコメント

フリー走行でタイムが伸びなかったので上田監督に指導していただきS字の走り方を変えてみた。最終アタックで
しっかり走ることができ、レースウィークベストを秒以上短縮することができたのは非常に良い成果だった。
ただ決勝は序盤に速いポイントの異なるライダーに頭を抑えられ自分の走りができず終盤まで満足な走り
ができなかった点は今後修正しなければいけない。次のレースは地元筑波サーキットなので満足のいく結果を
出せるよう頑張りたい。

次戦はライダーの地元筑波サーキット。序盤2戦よりワンランク上の結果を目指し全力で戦います。

NEXT ROUND 5/11・12 TSUKUBA

